

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 352

事務事業名	農村災害対策整備事業(大村北部地区)
-------	--------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農林整備課		
課長名	松崎 文彦	内線	267
担当者名	矢口 儀彦	内線	259

基本目標	040103	活力に満ちた産業のまち
政策		魅力ある農林水産業の振興
施策		農地の保全と有効活用
関連施策		

会計	一般会計		
款	6	農林水産業費	
項	1	農業費	
目	5	農地費	
事業コード	090000		

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画	大村市農村環境計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 農村災害対策整備事業によって整備するため池、水路		
意図	対象をどのような状態にしたいか 老朽化によって漏水が著しく堤体崩壊の恐れがあるため池や豪雨のたびに氾濫する水路を改修し、災害を未然に防ぐことにより、農業生産基盤と農村住民の生命・財産を守る。		
事業概要	全体事業費 910,914千円(県営事業) 市事業費 147,276千円(負担金) (H27年度 計画変更による) ・調査計画事業 17,000千円 H24 (負担割合 国50%、県25%、市25%) ・対策事業 893,914千円 H25~34(負担割合 国55%、県29%、市16%) 城田ため池改修事業 : 堤体改修 1式 L=87m 狩底ため池改修事業 : 堤体改修 1式 L=62m 御伊勢堂ため池改修事業 : 堤体改修 1式 L=86m 重井田水路改修事業 : 水路改修 1式 L=823m 井龍水路改修事業 : 水路改修 1式 L=355m		
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 34 年度	実施方法	その他

成果指標名	整備区域内の防止ができる災害被害面積			算定式等	整備済災害防止面積/計画災害防止面積	
着手前現状値	平成 24 年度	単位	ha			0
完了後計画値	平成 34 年度		47.7			

【DO(実施)】

事業実施項目		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
事業計画書	実績・計画額	4,250							4,250
	項目別進捗率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
県営事業負担金	実績・計画額		9,757	12,080	19,200	4,800	16,000	16,000	143,026
	項目別進捗率	0.00%	6.82%	15.27%	28.69%	32.05%	43.23%	54.42%	
用地・補償	実績・計画額								
	項目別進捗率								
建設工事	実績・計画額								
	項目別進捗率								
事務費等	実績・計画額								
	項目別進捗率								
合計	実績・計画額	4,250	9,757	12,080	19,200	4,800	16,000	16,000	147,276
	項目別進捗率	2.89%	9.51%	17.71%	30.75%	34.01%	44.87%	55.74%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
① 事業費(千円)	0	9,757	12,080	19,200	4,800	16,000	16,000	147,276		
国庫支出金										
県支出金										
地方債		8,700	10,800	17,200	4,300	14,400	14,400	128,400		
その他										
一般財源		1,057	1,280	2,000	500	1,600	1,600	18,876		
② 人件費(千円)	4,144	5,817	5,666	2,969	事業内容	事業内容	事業内容	B/C		
職員人数(人)	0.46	0.73	0.80	0.40	改修事業 1式 御伊勢堂ため池 井龍水路	改修事業 1式 井龍水路 重井田水路	改修事業1式 重井田水路			
時間外勤務(時間)	244	150	12	30						
嘱託等人数(人)										
フルコスト(①+②千円)	4,144	15,574	17,746	22,169						

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	H26年度は改修事業の実施設計等を実施し、重井田水路の追加による計画変更で全体事業費の見直しを行った。 H27年度から狩底ため池の堤体の改修に着手し、H28年度からは、御伊勢堂ため池の堤体を施工予定。
事業が抱える問題・課題等	防災対策工に要する事業費が多額となるため、安定的な予算の確保が必要となる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	農村地域に生活と密着して散在する、老朽化した小規模なため池や水路などの農業用施設は、近年の台風の大型化、ゲリラ豪雨の頻発などの自然災害に対して非常に危険な状態にある。 よって、集落単位での一体的な防災対策事業を計画し、農村地域の農業生産基盤と農村住民の生命、財産を守る必要がある。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	老朽化したため池や水路などは、小規模であっても、そのまま放置すれば決壊や溢水などにより、農村地域の集落や主要生活道路への甚大な被害を受ける恐れがある。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本事業で、集落単位での一体的な防災対策事業を計画し、対策を講じることにより、農村地域の農業生産基盤と農村住民の生命、財産を守る事ができ、対策効果は高い。						
負担割合	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	本事業を県営事業として実施し、事業費の一部を負担することで、他の事業で市が事業主体で行うより、コスト削減となる。						
見直し	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	市の負担は、補助事業の基準より定められている。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	早期完成を目指すために国予算の確保、補正予算確保等事業を強く推進する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。